

Z121c ELSIの文脈からみる天文学史および Cultural Astronomy と社会との接点

玉澤春史（東京大学，京都市立芸術大学），磯部洋明（京都市立芸術大学）

新興科学技術が社会に実装される際に生じる様々な問題がある程度事前に予測し対応を考えようとする「ELSI (Ethical, Legal and Social Issues: 倫理的・法的・社会的課題)」は現代の学術研究にとって必須の要素となりつつある。天文学史を含めた歴史研究においても、膨大な史資料がデジタル化されオンラインで手軽に読めるようになることで新たな知見を見出す人文情報学 (Digital Humanities (DH)) の急速な発達により、またその大量のデジタル資料を学習データとして AI に利用した場合の問題とも絡み、予期せぬ様々な問題に直面しつつある。すでに Gonzalez & Rodrigues (2022) や Berry (2022) のような先行研究もある一方で本格的な検討はこれからの領域であり、実際に研究を実施するうえで上記の観点を意識したうえで実例を収集することが重要である。この内容は文字資料を扱うような協議の天文学史だけでなく、特定の人々に対する偏った認識を学習データとして用いた場合の問題など、より広い Cultural Astronomy の領域にも関連しうる内容である。これらの課題は研究者だけでなく、デジタル化・オンライン化によって専門家でない人々が簡単に情報にアクセスできるようになることを目指した一連のオープンサイエンス運動とも絡んでいっており、社会と研究資源との関係にもつながっている。